

2013年7月12日

第7回キッズデザイン賞
「子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門」で2つの受賞
【 リビングの新空間提案 「こまま (comama)」 】
【 子育てをテーマとした庭の設計提案 「ハグくみの庭」 】

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田大手町）は、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会（本部：東京都文京区）が主催する「第7回キッズデザイン賞」において、“子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門”で、キッズデザイン賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

今回は、商品デザイン、建築・空間デザイン、コミュニケーションデザイン、リサーチ等の分野において、応募総数が過去最高となる383点の提案の中から211点が選出されています。今後も当社では、子どもの健やかな成長につながる安心・安全な住まいづくりをはじめ、木の魅力を活かし、家族の暮らしに合わせた快適な住まいを提案していくとともに、再生可能な資源である木を積極的に活用し、循環型社会の構築に貢献してまいります。

<キッズデザイン賞>

「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」、「創造性と未来を拓くデザイン」、そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでありながら子ども目線を持った、良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを対象としており、受賞作品は「キッズデザインマーク」の使用が認められます。NPOキッズデザイン協議会が主催しています。



<受賞内容>

- リビングの新空間提案 「こまま (comama)」
- 子育てをテーマとした庭の設計提案 「ハグくみの庭」

子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門

主に子育ての当事者である親・個人（妊婦含む）が使用、利用し、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担や不安を軽減する工夫がなされたものを選出。

<受賞作品概要>

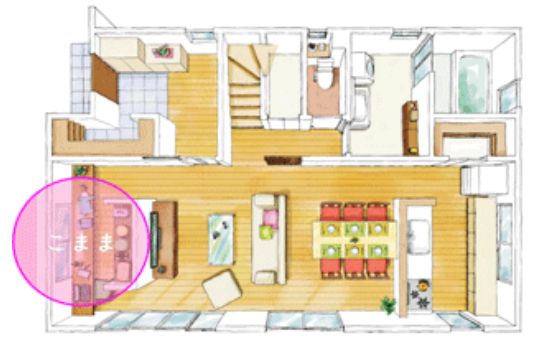
【リビングの新空間提案 「こまま (comama)」】

■ 特長

多目的化する「今」のリビングは気が付くとモノが溢れて雑然としてしまう、でも片付けは苦手、という収納に対するストレスを解決する空間提案。収納セラピストのアドバイスをもとに収納を「置くだけ」と定義し、発想の転換を図り収納に対する潜在的なストレスを軽減します。リビングから見えない収納スペースには扉は付けず、すぐに出せて、また元の場所へ置くだけです。扉の開閉がないことで小さな子どもも楽に片付けができます。また、収納の背面にはカウンターを設け、家族のフリースペースとしました。更に空間自体に扉を設けないのでリビングと同じ冷暖房環境を維持できます。限られたスペースを有効活用、「こまま」は快適な新リビング空間を実現します。

■ 開発の考え方

今の時代のリビングは、家族のための多用途、多目的な空間に進化しています。「このまま、きままに、家族の思いのままに」をテーマに、「家族が集まる、いろいろ使える、我が家らしくすっきりと片づく」の3つが好循環となる「リビングのハッピーサークル」という考えを基軸に、特に収納のストレスを取り除き、快適性を実現する新リビング空間としました。



「こまま」イメージ平面図

【子育てをテーマとした庭の設計提案 「ハグくみの庭」】

■ 特長

* 「ハグくみの庭」は「五感とからだを育む庭づくり」をコンセプトとした庭の設計提案です。“ハグくみ”は、“ハグ”（抱きしめる）と“育み”を掛け合わせた造語です。「ハグくみの庭」の設計提案は、五感とからだの成長がその後の発達の土台になるという、広木克行氏（臨床教育学：神戸大学名誉教授）が提唱される考えをもとに、当社が乳幼児期に必要な遊びを引き出すことを目的に独自に構築しました。12の設計アイデアで構成され、お好みに合わせて、ご提案することができます。近年、核家族化が進み、子育ての負担は親に集中しています。毎日公園に連れて行くことは困難でも、自宅の庭にちょっとした仕掛けを設けることで、子どもが安心して遊びながら感性や情緒を育み、からだの使い方を身につけ、大人も安心して見守れる遊び場にすることができます。その価値や効果については、当社筑波研究所において、親子18組（1～6歳の乳幼児26名）を対象としたインタビュー及び行動観察調査を行って確認しています。特別な遊具等は用いていないため、将来の庭のリフォームも容易です。

【ハグくみの庭が育てるエレメント】

- ・五感を育む さまざまなものを五感で感じとる体験を通じ、感性を豊かに
 - ・好奇心を生 「知りたい」「遊びたい」など自発的意欲の源に
- む
- ・創造力を育 自分で創り出す喜びから意欲や表現力も発達
- てる
- ・からだをつ 全身を自分の意思どおりに動かせる運動機能の体得
- くる
- ・安全・安心 子どもが安全に遊べ、大人が安心して見守れる環境
- に遊ぶ

【設計アイデアの例】



見まもり庭



わくわくマウンド



じゃぶじゃぶシンク



■ 開発の考え方

育児中の親が負担なく子どもを安全に遊ばせることができる場所として、最も身近な戸外である「自宅の庭」を積極活用。「監視」ではなく「ゆるやかな見まもり」となるよう、飛び出し防止等の安全性や住宅と庭の視覚的関係性に配慮した計画としています。また、子どもの好奇心や創造力を促すべく、各アイテムの配置や設置する高さにも配慮しました。

以上

《本件に関するお問い合わせ》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 大西・佐藤

TEL 03-3214-2270